

ふんねんと

人間

ギャラリー

マチに生きる



人のこころ

11月1日～11月30日届出分

応急手当の普及には、皆さんの勇気が必要

錦町 深谷 義明さん（25歳）



胆振東部消防組合消防本部・消防署厚真支署で消防士として働いている深谷さん。今年行われた『第二十二回道南地区消防職員意見発表大会』に出場し、見事、最優秀賞を受賞しました。

高校生のころ救急車で運ばれる経験をし、その時『救急救命士』を知り、自分もなりたいたいと思ったのがきっかけで消防職員となった深谷さんは、日ごろ現場に行っていること―バイスタンダー（救急車が到着するまで応急手当をしてくれる人）がいないこと―について、その原因や自分たちの役割などについて発表しました。

「応急手当の普及、そして救命率をあげるためにも、多くの人に救命講習会などに参加していただき、事故などの場面に遭遇したら、勇気をもってバイスタンダーとなってもらえるよう努力します」

マチの善意



かみあつ ましょう ねん
上厚真小 4年

さいとう ほなみ
斉藤 穂菜美ちゃん (10)

「アルミ箔をカップの部分に貼っていくときに、シワにならないようにするのが難しかったです」



ぼくわたしの作品

図工で作った『マイ・トロフィー』について二人に感想を聞きました。



かみあつ ましょう ねん
上厚真小 4年

きりき ゆうき
桐木 由希ちゃん (10)

「棒のところにセロファンを貼ってきれいに見えるように工夫しました。楽しく作れました」

ぼくの・わたしの クラス自慢

ともだちっていいな



紹介してくれたのは…

軽舞小学校 5・6年生の皆さん

(書いてくれたのは) 5年 三浦 有貴ちゃん

その43 軽舞小学校



これからも、みんなとずーっと仲良くやっていきたいです。特に六年生とは、一緒に過ごす時間があと四カ月くらいしかないの、六年生から六年生としての心構えややさしさ、きびしさを学んでいきたいです。

これからもヨロシクね！みんな！！

私たちの学級は、五年生が二人、六年生が七人で、男子三人女子六人の学級です。全校では二十一人しかいない小さな学校です。

でも、学級はいつも元気で明るいのです。なぜかという、外でいっぱい遊んだり、あいさつも明るくできるからです。今年はやった遊びは、外でみんなだかんけりとか、女子は低学年と一緒にブランコ遊び、男子は『花咲山』でチャンバラごっこでした。最近では、女子は、ふかふかマットの上でおうちごっことかボール取り遊び、インターネットで『ダレン・シャン』のホームページをみたりしています。男子は、外で『冬のソナタ』ごっこことわけのわからない遊びをしています。

私の最近での一番の思い出は、十月三十一日に行われた学芸会です。学芸会では、あの有名な『ゆうれい皿屋敷』の劇をしました。六年生にとっては、今年で小学校最後の学芸会になるから、思い出に残る劇にしてあげたかったので、私は、毎日鏡の前で表情の練習や発声の練習をいっぱいしました。本番は、私としては大成功でした。近所の人にも六年生、やってよかったって思ってるよ』と言われました。